

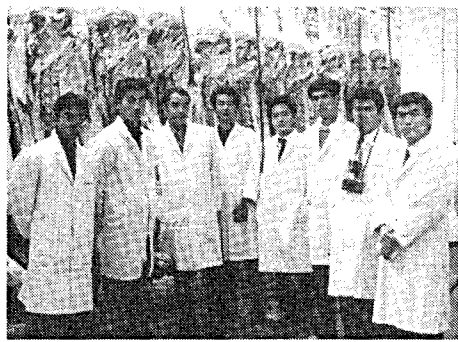
	(60.1.1)	(前年同月比)
人口総数	528,161人	(+ 5,256人)
男	250,856人	(+ 2,466人)
女	277,305人	(+ 2,790人)
世帯数	188,370世帯	(+ 2,549世帯)

牛とともに育つ畜産後継者たち

市農業青年クラブ畜産部会

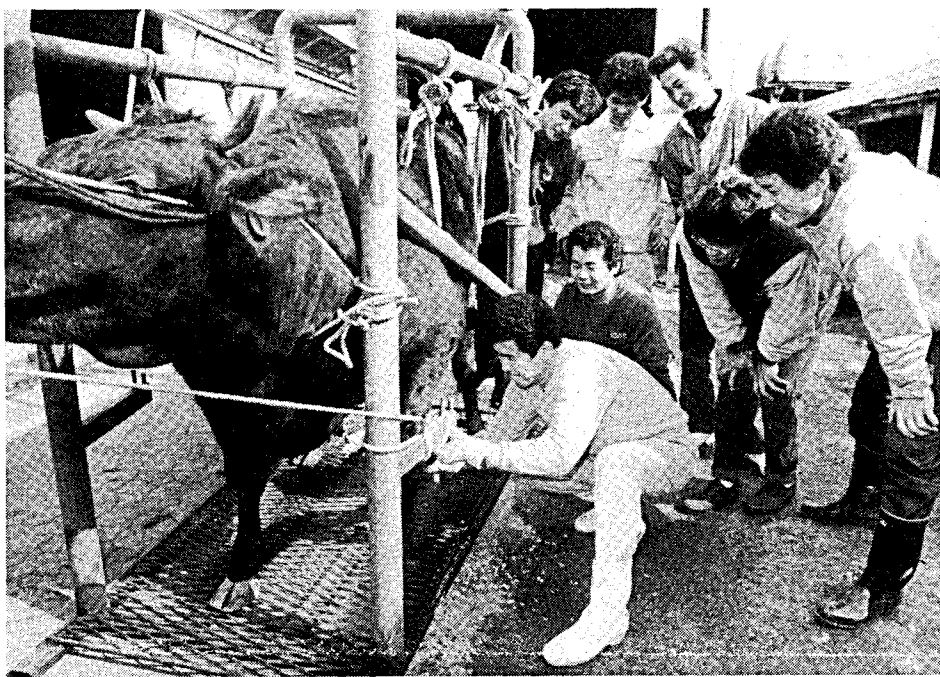


「規模拡大を目ざしたい」と意欲満々の上村さん



仲間と一緒に枝肉を出荷
(京都枝肉市場で)

削蹄講習会に集まった
三十年代生まれの畜産後継者たち



鹿児島市農業青年クラブ（会長久木野義見さん、会員四十六人）は、市内で野菜栽培、花き栽培、果樹・茶の栽培、畜産に従事する若人の集まりです。彼らは鹿児島市の農業の担い手です。彼らの活動は、専門的知識、技能を学ぶ研修会、先進地視察など自主的に行われ、市はそれを積極的に援助しています。今月は市農業青年クラブ畜産部会に所属、仲間とともに活動する畜産農家の後継者たちを紹介します。

お互いに情報交換 そして研究

「牛のつめが伸び過ぎると歩行にバランスをくずし、牛が神経質になって太りが遅いんです」――一月下旬、市農業青年クラブ畜産部会のメンバー七人は、定期的に行っている削蹄講習会を部会長の上村一郎さん（上福元町、二十八歳）の牛舎で行いました。

畜産部会は、市農業青年クラブにある五つの専門部会のうちのひとつで、メンバーは現在十九人。それぞれ酪農、肉用牛、養豚などに取り組んでいます。

この日、つめを削られた牛は、上村さんがクラブの仲間たち七人と共同で購入した十四頭のうちの二頭、各人が二頭ずつ購入して、工夫しながら育てているものです。

肥育牛の共同購入の試みは牛を飼う技術をみんなで勉強してみようという目的で一昨年五月にスタート。第一回目に購入した牛は、昨年十一月に枝肉として京都枝肉市場に出荷、肉質がよく市場でも好評でした。こうして二回目の試みが行われています。

集まったメンバーは「いい肉質の牛を出荷するためにはエサの与え具合、牛舎の管理など日常のすべてを含めた牛の管理が勝負。仲間と情報交換をしながら、自分自身の飼育方法を早く見つけたいですね」と語ります。

牛への愛情は だれにも負けない

畜産部会のメンバーはほとんど後継者、独立した人はまだ少ない。上村さんもお父さんと一緒に九十頭余りの牛を飼っています。

朝八時、牛のエサをつくり、エサは彼の研究の成果で、一昨年末までのものは違ふといふ。一頭一頭健康状態を確かめながら、エサの量を決めて与えます。

これが終わったら牛舎の清掃、集めた排泄物はベルトコンベヤーで舎外に運ばれます。十一時、朝の仕事が終了。

「素牛の良否の見分け方などおやじに教わるこの方が多くてまだまだ勉強しなくては」と、謙遜する上村さん、畜産への意欲がうかがえます。

ふれあいの街角



文化公園で

ふれあい

赤崎義則

相変わらず寒い日が続いています。寒さが続きますと、つい無精になりがちですが、健康を保つためには、寒風をいとわず、まめに体を動かすことが大事です。私もできるだけ動くように心がけていますが、まだまだ十分とはいえないようです。

最近四季を問わず、市内のあちこちで年寄りのゲートボール、若者のソフトボール、婦人のバレーボール、子供たちの歩こう会など、いろいろな形でスポーツが盛んになってきています。

このことは、単に自分自身の健康を高めるだけでなく、地域の方々同士の連帯、融和、いわゆる「ふれあい」を深めるためにも大きな効果があります。

ところで、ある団地に住んでいる友人から聞いた話を紹介します。彼には通勤の途中毎朝バス停で会話を交わす親しい人がいるそうです。二人は、以前はお互い同じ団地に住んでいることを知っていたが声をかけあひ、何となくきまり悪い思いでバス停に立っていたそうです。しかし、ある日思い切ってこちらから会話をしたら、向こうの方からも声をかけてこれ、それからは毎朝バス停でのよもやま話が楽しみのようになっていくということです。

私は、「先方もきつと気にしておられたんですね」と言いながら語ってくれた友人のこの話を聞いて、「ふれあい」というのは、ほんのちよつとしたきっかけや勇気から始まるものだと、つくづく感じ入ることでした。

私もこれから、機会あるごとに市民の皆さんとのふれあいを求め、市民の皆さんと協力し合いながら、二十一世紀につなぐ新たな道を切り拓いていきたいと念じております。



福祉事業のコーナー



心身障害児通園施設の利用を

3歳から6歳までの、心身に障害のある幼児と精神発達に障害のある幼児のための施設です。

施設では、将来できるかぎり健全な社会生活を営むことができるように、生活指導や運動、絵画、遊戯などを通じて心身の成長発達のお手伝いをします。市内には次の施設がありますので、ご利用ください。

名称	心身障害児通園事業 わかば園	精神薄弱児通園施設 ひこばえ学園
場所	市内紫原四丁目37番5号 (☎21083)	市内大迫町5975番地 (☎0205)
対象児	在宅の心身障害児で、保護者と一緒に通園できる幼児	発育、特に精神発達に障害をもち、身体的に著しい問題のない幼児で、原則として通園バスを利用できること
保育目標	①基本的な生活習慣、身辺処理、しつけ指導 ②友達との仲良く楽しい学園生活への適応 ③音楽・遊戯・絵画・運動などの療育指導によって情緒の安定、感覚能力、知的能力を高める	
入園手続	市児童家庭課、福祉谷山分室	市児童家庭課、福祉谷山分室、県中央児童相談所
通園方法	定期バスまたは自家用車などで、保護者と一緒に通園する	学園専用のバスで、ターミナル方式で通園する
問い合わせ	入園のご相談は、県中央児童相談所(☎33003)、市児童家庭課(☎21111内線465)、福祉谷山分室(☎21111内線128)へ	

市民福祉手当の申請

市では、市民福祉手当の制度を設け、寝たきり老人、重度心身障害者、重度心身障害児、遺児等修学手当として年額12,000円を支給しています。

これらの手当の、いずれかに該当する人で、まだ昭和59年度分の申請をしていない人は、2月中に手続きを済ませてください。

申請・問い合わせ

市児童家庭課☎1111、福祉谷山分室☎2111

乳幼児の医療費を助成

乳幼児の健康と、健やかな育成を願い、市では6歳未満児の保護者に医療費の一部を助成しています。

なお、昭和59年7月診療分から新たに4歳児と5歳児の歯科診療も、助成の対象になっています。

手続きに必要なもの

保険証、印鑑(社会保険の場合は乳幼児の住民票の写しが必要)など

問い合わせ 市児童家庭課☎1111、最寄りの支所

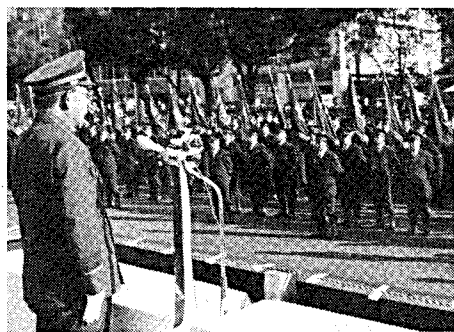
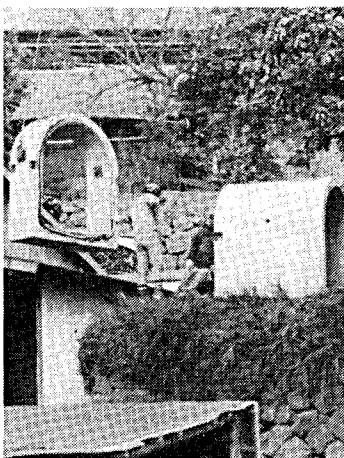
『老人医療』

～看護料の申請は事前に～

市では、基準看護の病院でない病院に入院しているお年寄りが、療養上の必要から、医師の指示によって看護人(身内の人は除く)をつけると、一定の基準で看護料を支給しています。健康手帳と保険証を添えて、事前に承認申請をすることが必要です。

問い合わせ 市老人福祉課☎1111、最寄りの支所

桜島の有村町に避難こうを設置
1月21日 市では有村町(51世帯、うち4世帯は共同使用)に緊急避難用避難こうを設置を始めた。2月10日ごろまでに設置を終える予定。避難こうは鉄筋コンクリート製で、土木工事用のアーチ型暗きょの強度を高めたものです。



水のアーチに歓声 市消防出初め式

1月6日の出初め式には消防職員・団員約千2百人と消防車34台が参加、多彩な催しがありました。その中で、赤崎市長は「桜島があり、高層建築も多いので、皆さんの任務は重い。市民の生命と財産を守るため頑張って」と激励しました。

お知らせコーナー

お知らせコーナー

市教育委員会では、「いつでも・どこでも・だれでも」図書貸し出しサービスが受けられるように、移動図書館車「わかくさ号」を巡回しています。昭和59年度は、10コース・49団体・登録者約1万人が利用しました。60年度も、次の要領で利用団体を募集します。お申し込みください。

巡回期間 60年4月中旬から61年3月下旬まで
対象地域・団体
(1)公民館図書室を利用している地域で、図書館車での



市内の各地域から物価状況やご意見、ご要望をお寄せいただく、消費生活情報連絡員を募集します。多数ご応募ください。

応募資格 消費生活の問題に熱意のある20歳以上の市民(ただし、この連絡員を2年以上経験した人は除く)
募集人員 50人(地域別、年齢などを考慮して選定)
任期 60年4月1日～61年3月31日

消費生活情報連絡員を募集

応募期間は3月9日まで

仕事内容 月1回の物価調査報告、アンケート調査ほか
応募方法 ハガキに住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、家族構成、世帯主の職業、居住地の環境(例：商店街、住宅地、農村)などを記入し、3月9日まで(当日消印有効)に申し込んでください。

申し込み 〒892市山内山下町11の1 鹿児島市市民生活課☎1111



公民館、移動図書館
決定通知 3月末に各代表者へ
問い合わせ 市教委図書室☎2439(谷山市民会館内)

動く図書館『わかくさ号』

来年度の利用団体を募集

介護技術の習得とレベルの向上を図るための講座を開きます。次に該当する人は、お申し込みください。

対象者
在宅重度身体障害者
などを介護している家族、ボランティアなど、講座を受けた人

実施日時
第1回：2月13日、
第2回：2月20日、
第3回：2月27日、
いずれも13時～16時
なお、会場行きの送迎バス

在宅重度身障者の介護技術等の指導講座

会場 市福祉コミュニティセンター(祇園之洲町1番2号)
講師 日本赤十字社鹿児島県支部救護係長 松林敦子さん
受講料 無料
問い合わせ 市福祉コミュニティセンター☎1200 または市社会福祉課☎1111

(答) ご質問のように通算老齢年金の受給権が発生しても、60歳までは国民年金を途中でやめることはできません。国民年金の制度では、加入期間は60歳までと定められているからです。

ところで、ご参考までに申しますと、通算老齢年金の額は保険料の納入期間に応じて異なり、多く掛けた人ほど高い年金額が保障されることに

年金質問箱

(問) 厚生年金4年と国民年金22年を
足すと25年以上になり、通算老齢年金
の受給資格がありますので、これから
国民年金をやめたいのですが…
(自営業・49歳)

なっています。
また、加入中に病気や事故などで障害者になった時は障害年金が支給されます。
もし、生活が苦しくて保険料の納入が難しいということでしたら、収入が一定基準以下の場合には保険料の免除制度もありますので、次の所へご相談ください。

相談・問い合わせ 市国民年金課☎1111、各支所

国民健康保険税

(第6期)

下水道受益者負担金

(第4期)

納期は
2月28日まで

忘れずに納期
内に納めま
しょう。



あなたの声を市政に 昭和60年度 市政モニター募集

◆市民の皆さんの建設的、独創的な意見や提言を市政に反映させるために次の要領で来年度の市政モニターを募集しています。
◆応募資格 20歳以上の市民(ただし本市の市政モニターを2年以上経験した人は除く)
◆任期 1年間(昭和60年4月1日から昭和61年3月31日まで)
◆募集人員 100人(定員を超えた場合は抽選)
◆応募方法 所定の「市政モニター申込書」に記入して申し込んでください。

申込書は、市市民相談室、各支所、出張所、各地域公民館に用意してあります。
◆申込先 〒892 市内山下町11番1号 鹿児島市役所市民相談室広聴係
◆募集期限 2月20日(当日消印有効)
◆問い合わせ 市市民相談室広聴係 ☎4241



市民のひろば -MBC- 8時放送

- おでかけください 市民の消費生活展
- 動く図書館 わかくさ号
- 市長と語る

市政の窓 -KTS- 週2回放送

- 土曜日 12時55分～13時
- 日曜日 16時55分～17時

かごしま市政ガイド-KKB- 週1回放送

- 日曜日 11時45分～11時50分

市のテレビ番組

家庭と地域の健康づくり

病人の看護のしかたや健康管理、また、家庭での生活のあり方について、あなたは十分な知識をお持ちですか。保健所では、家庭と地域の健康づくりに向けて様々な教室を行っています。

今月は、その中から「看護教室」と「栄養教室」についてご紹介しましょう。

看護教室

家族の中に急な病人やけが人があて、あわててしまったという経験はありませんか。そんな時のために、ケガの手当てや病人の看護、家族の健康管理について正しい知識と技術を身につけていただくというのが看護教室です。

内容は、疾病の予防についての講義と救急看護、家庭看護の実技などを学ぶもので、講師には、医師、保健婦、栄養士などがあたります。

また、一年生を修了された人の中から希望者による二年生の教室もあり、「成人病の予防と看護の専門的知識と技術」を学ぶ

栄養教室

栄養の基礎的な知識についての講義とバランスのとれた食事づくりの調理実習を中心とした教室となっています。

地域における食生活改善推進員を養成し、地域ぐるみの食生活改善運動を強化することにより、市民の体力・体力の向上と成人病の予防を図り、市民の健康増進に努めることを目的に開かれるものです。

▼対象者 市内にお住まいの家庭婦人で、所定の課程修了後は家庭の食生活の実践者であると同時に、自らすすんで地域社会における住民の栄養お



看護教室から

びます。修了生の皆さんは、家庭にとどまらず、地域の人々と保健所とのパイプ役としても活躍しています。

▼対象者 市内にお住まいの家庭婦人で、毎月一回一年間受講できる人

▼受講期間 六十年四月から六十年三月

▼定員 中央・山下両保健所とも各百人

▼申し込み 往復ハガキに住所氏名、年齢、電話番号を記入して、それぞれの保健所の保健婦係へ

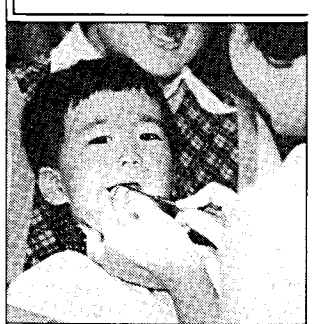
▼受け付け 二月十二日から(定員になり次第締め切り)

▼よび食生活改善の推進者として活動できる人

▼受講期間 六十年四月から六十年三月(月一・二回)

▼定員 中央・山下両保健所とも各四十人

健康コーナー



フッソの塗布

▼対象者は市内に住む58年3月生まれの子供。料金金は600円。申し込みは往復ハガキに受診者の住所、氏名、生年月日、保護者名、電話番号を記入して、中央保健所母子保健係へ

婦人ガン検診

▼対象者は30歳以上の市民。検診料は子宮ガン400円、乳ガン1180円。日程と会場は、2月13日緑丘中(子宮ガンのみ)、14日錦江台小(子宮ガンのみ)、15日西陵小(子宮ガンのみ)、16日長田中(子宮ガンのみ)、17日伊敷小、20日宇宿小、21日・22日玉江小、27日武岡小(子宮ガンのみ)、28日東郷農協(子宮ガンのみ)、3月1日荒田小(子宮ガンのみ)、2日鴨池小(子宮ガンのみ)、6日草牟田小(子宮ガンのみ)、7日大明小(子宮ガンのみ)、8日和田小(子宮ガンのみ)、9日田上小(子宮ガンのみ)、9日申し込みはハガキに住所、氏名、年齢、検診日、電話番号を記入して、中央保健所検診係へ

▼子宮ガン検診は市内の産婦人科医院および市医師会病院でも行っています(検診料は1000円)

▼胃ガン検診

▼対象者は40歳以上の市民。検診料は500円。日程と会場は、2月21日・22日谷山福祉会館、25日・26日吉野出張所、27日東谷山小、28日西谷山小。申し込み方法は婦人ガン検診と同じ

▼育児教室

▼対象者は59年9月以降に生まれた第一子をもつ母親で、3回連続受講できる人。内容は赤ちゃんの発育としつけ、病気の予防接種、

中央保健所 ☎2321
〒890 鴨池二丁目25の1の11
山下保健所 ☎1111
〒892 山下町10の5
谷山保健センター ☎2315
〒891-01 上福元町4360

成人健康相談

▼40歳以上の市民を対象に心身の健康に関する個別相談に応じます(血圧測定、検尿も実施)。保健所での相談日程は、中央保健所：2月4日・18日(8時30分～10時)、山下保健所：2月14日、28日(8時30分～10時)、谷山保健センター：2月20日(13時30分～15時)。申し込みは前日までにそれぞれの保健所の予防係に電話で予約すること

▼地域での相談日程と会場は、2月19日伊敷公民館(13時30分～15時)

▼歯科相談室

▼歯の健康に関する各種相談(歯科検診、歯磨き、食事指導など)に応じます。対象者は乳児から一般成人まで。日程と会場は2月18日(13時30分～15時)：山下保健所。歯ブラシを必ず持参すること

猫の引き取り

献血にご協力を

業態者健康診断

健康診断・住民検診

乳児健康診査

▼乳児(生後90日～149日)の健康診査はお済みですか。受診券は母子健康手帳に添付されており、検診料は無料です。市外から転入された人で、無料受診券をもらっていない人は最寄りの保健所まで

予防接種はお早めに

▼就学前の子供の予防接種は左表のようになっています。対象者には、ハガキで通知しますので、できるだけ指定された日に受けてください。該当年齢になっても通知がこない人、市外から転入された人は、中央保健所防疫係まで

予防接種一覧

種別	対象年齢
ポリオ(小児マヒ)	生後3ヶ月～48ヶ月
麻疹(ハシカ)	生後18ヶ月～36ヶ月
(百日咳)三混ジフテリア破傷風	一期 生後24ヶ月～48ヶ月 二期 (一期完了後1年か1年半まで)

※詳しくは母子健康手帳をご覧ください。

猫の引き取り

▼どうしても飼えなくなった猫は捨てないで次のところに持参ください。日時：毎月第1月曜日(9時～12時)。場所は県衛生研究所(城山町1の24) ☎2612

献血にご協力を

▼健康を分けてあげよう献血で。現在、「はたちの献血」キャンペーン(1月7日～3月7日)が展開されています。献血をしていただいた人には、肝機能検査、コレステロール検査など生化学検査サービスを実施。くわしくは県赤十字血液センター ☎3141へ

休日在宅医さん

診療時間 午前9時～午後6時
※やむを得ず一部変更になることがあります。ご了承ください。

休日在宅医の問い合わせ ☎2323～5
休日夜間急病センター ☎1499
(休日の夜間午後6時～午後11時)
全夜間輪番在宅医 ☎1499 ☎2323～5
(毎日午後6時～翌朝8時)

2月10日(日)

内科・小児科
給黎病院(下竜尾町) ☎2211
鯨島小児科医院(山之口町) ☎2525
飯馬場内科医院(田上町) ☎8703
川平放射線科(与次郎二丁目) ☎5252
川平内科医院(小松原一丁目) ☎1800
片瀬産婦人科(山之口町) ☎2560
眼科
田代眼科医院(中央町) ☎1551
耳鼻科
朝隈耳鼻咽喉科医院(千日町) ☎1871

2月17日(日)
内科・小児科
岩井内科(小川町) ☎6020
浜田小児科医院(西千石町) ☎4553
内科飯山病院(上荒田町) ☎2528
岡崎医院(紫原一丁目) ☎4272
益崎内科(小松原二丁目) ☎5281

耳鼻科

江川耳鼻咽喉科(大黒町) ☎2658

2月11日(月)建国記念の日
内科・小児科
中町診療所(中町) ☎4603
江夏医院(甲突町) ☎5965
藤田小児科(武一丁目) ☎7722
しんでん医院(郡元町) ☎8280
岩元医院(桜ヶ丘三丁目) ☎1155

外科

黒川病院(南栄五丁目) ☎2220
厚地脳神経外科病院(東千石町) ☎1231

整形外科

児玉国秀(下荒田四丁目) ☎2720
整形外科医院
皮膚・泌尿器科
下荒磯医院(下荒田二丁目) ☎8663
産婦人科
片瀬産婦人科(山之口町) ☎2560
眼科
田代眼科医院(中央町) ☎1551
耳鼻科
朝隈耳鼻咽喉科医院(千日町) ☎1871

外科

広瀬病院(西千石町) ☎1000
岩下外科医院(城西三丁目) ☎5632

整形外科
三愛整形外科病院(郡元三丁目) ☎6622
皮膚・泌尿器科
内宮皮膚科医院(中町) ☎1872
産婦人科
桜井産婦人科(宇宿一丁目) ☎8964
眼科
有蘭医院(真砂本町) ☎0879
耳鼻科
鎌田耳鼻咽喉科医院(加治屋町) ☎0725

2月24日(日)

内科・小児科
大口内科小児科(松原町) ☎8015
中野内科医院(下伊敷町) ☎3312
たけ内科医院(田上町) ☎3322
杉本秀生内科医院(鴨池新町) ☎3636
杉本内科医院(下福元町) ☎4126

外科
さめしま共立病院(南郡元町) ☎3151
岩尾外科(西千石町) ☎3700
胃腸科クリニック

整形外科

整形外科白坂病院(中央町) ☎3161
皮膚・泌尿器科
萩原医院(新町) ☎6993
産婦人科
伊集院産婦人科病院(池之上町) ☎6575
眼科
眼科川畑病院(上之園町) ☎6164
耳鼻科
黒木耳鼻咽喉科(真砂町) ☎8292

3月3日(日)
内科・小児科
南風病院(長田町) ☎9111
桜井内科診療所(加治屋町) ☎9888
小児科上笹貫医院(武岡二丁目) ☎0340
児玉医院(下荒田四丁目) ☎1814
林督医院(紫原三丁目) ☎8985

外科
南風病院(長田町) ☎9111
中村昭典外科医院(上之園町) ☎4711

整形外科
整形外科阿久根病院(鴨池一丁目) ☎8922
皮膚・泌尿器科
原田皮膚泌尿器科(真砂町) ☎2028
産婦人科
池田千秋産婦人科(南林寺町) ☎3548
眼科
吉村眼科クリニック(宇宿三丁目) ☎8641
耳鼻科
きじま耳鼻咽喉科(東谷山二丁目) ☎3611